

# ワーキングチーム構成員からの情報提供：道北圏域ロジスティクス総合研究協議会 乳製品輸送における名寄中継に向けた検討等について

## 道北周辺地域の物流課題

### ■周辺地域の物流調査結果

①輸送力の低下・・・長距離・低積載およびドライバー不足  
輸送力確保が困難となり基幹産業の販路拡大に苦慮  
※2024年労基法改正によりさらに厳しくなる

➡ 調達と最適な輸送の確保

②保管施設の不足・・・施設老朽化や保管物増加により近隣施設が不足し  
遠方施設保管による輸送・保管コスト増加  
※加工品の保管施設不足 等

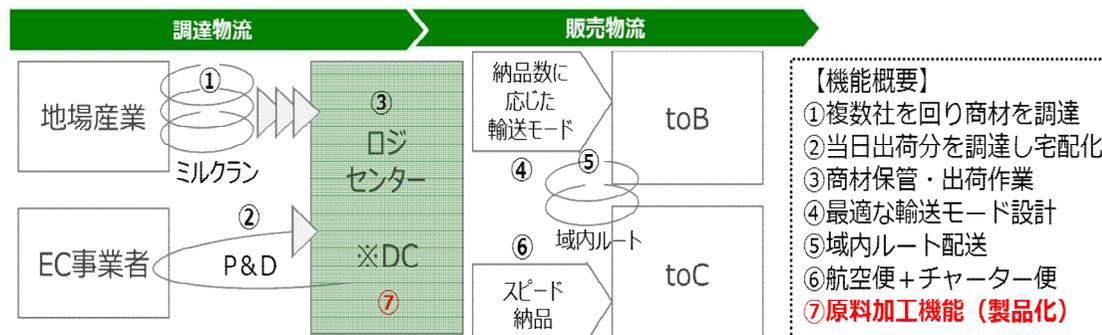
➡ 保管機能の確保

③労働力不足・・・高齢化・人口減少により基幹産業の  
原料・製品加工力の低下  
※海産物の原料加工や製品加工の作業人員不足 等

➡ 労働力の確保

### ■想定される必要な機能整理

1. ロジ機能（保管・輸送・荷役・包装・流通加工・情報システム）
2. 原料加工機能



➡ 名寄以北・周辺地域の  
物流集約化

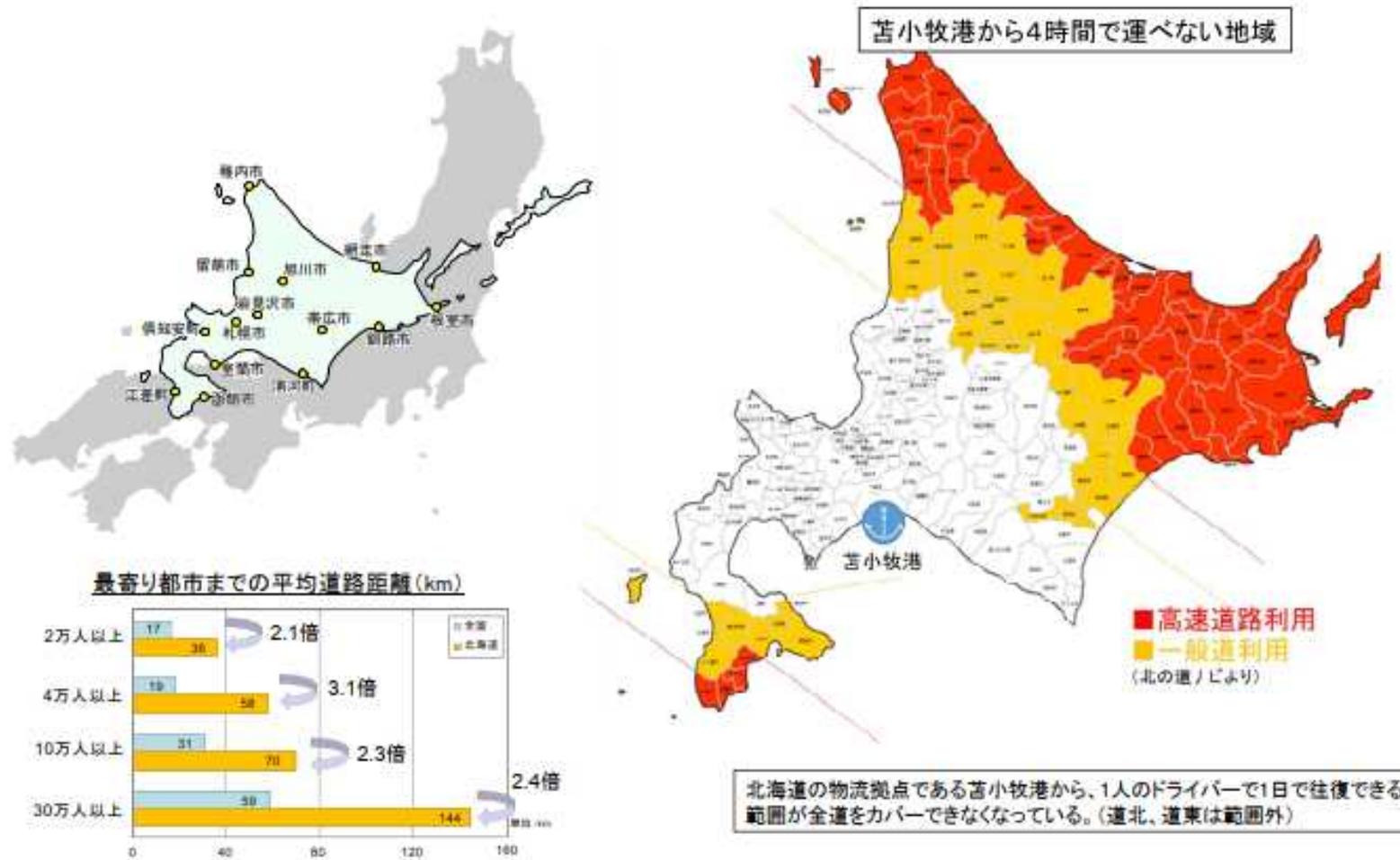
永続的な物流システムを構築するため、市場調査の強化

# ワーキングチーム構成員からの情報提供：道北圏域ロジスティクス総合研究協議会 乳製品輸送における名寄中継に向けた検討等について

## 道北地域の輸送状況

※北海道開発局資料抜粋

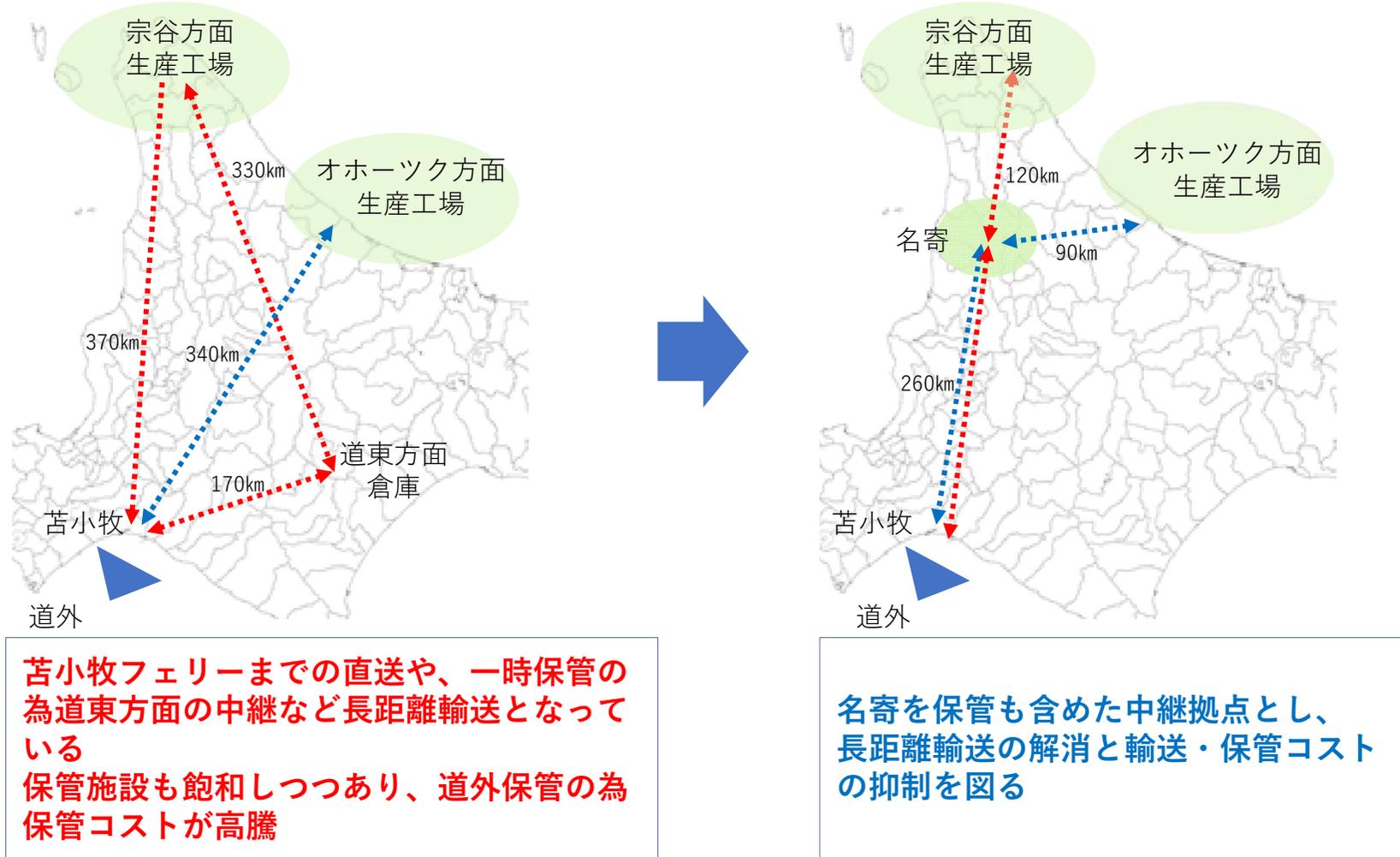
北海道は本州とは異なる広域分散型の社会となっており、移動距離が本州の2～3倍となる。加えて昨今、ドライバーの運行規制が厳格化され、1人のドライバーで往復できる範囲が限定的(片道4時間程度)となった。



2024年労基法改正によるドライバー残業時間の厳格化により、さらに状況が厳しくなる

# ワーキングチーム構成員からの情報提供：道北圏域ロジスティクス総合研究協議会 乳製品輸送における名寄中継に向けた検討等について

## 課題解決に向けた実案件（乳製品）

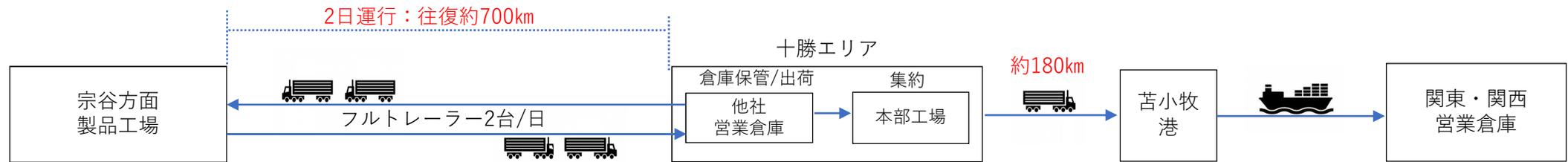


- ・ ドライバー不足の解決・保管機能の確保による製造ロスの解消  
持続可能な物流システムの構築

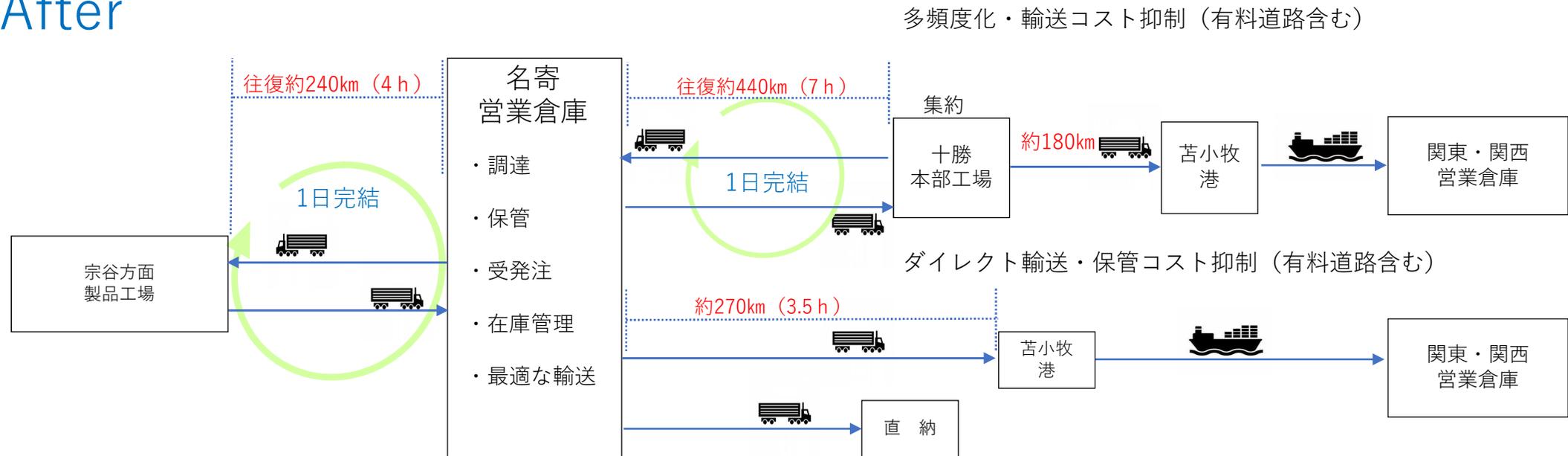
# ワーキングチーム構成員からの情報提供：道北圏域ロジスティクス総合研究協議会 乳製品輸送における名寄中継に向けた検討等について

フロー図

Before



After



事業化に向け、具体的なオペレーションを含め提案協議中